THE WEEKLY REPORT

THE JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE, TSINGTAO

經濟週報

青島日本商業會議所

第百十七號

（中華郵政特准掛號認爲新聞紙類）
大正十四年八月卅一日發行
毎週月曜日

▼本號記事▲

○隴海鐵路東路調査狀況（其十一）
○大正十四年上半期青島貿易概況（其一）
○埠頭業務概況（七月中旬）
○青島に於ける邦人戸口數（七月末）
○銀塊並爲替（自八月十七日至二十二日）
○商　況（同）
○青島日本仕向貨物狀況
○落花生輸出統計中訂正（鈴浦氏調査統計表）
○山西の棉花
○青島物價表（七月中）

資料

隴海鐵路東路調査狀況（其十一）

第六章　三叉河

第一節　概況

三叉河は大運河沿岸に位する一部落にして北方台兒庄に七十里新安鎮の西方八十里にして更に此の地より徐州に至る百六十里を要するものとす、然れ共當地は舊黄河道の沖積地平野に位し更に北方大兒庄間大運河舟揖の便によりて山東省に通し南方清江浦に達し得る所謂四通八達の地にあり、故に隴海鐵路當局は此の地を以て將來徐海間に於ける最大停車場とし以て大運河舟楫の便と相俟つて地方物産の吸收地とすべく目下工事の進行中にして名けて運河驛となす

當地は從來戸數僅かに四十戸にして大運河上下航の旅客の一宿地たりしのみ然れども今や隴海鐵路徐海線は徐州より發して當地迄七十五粁間の營業を開始し居れるため地方物産の集散漸次增加し來り當地發展の曙光を示し來れり

第二節　生業

當地は江蘇北部平野の一隅に位し農産地たること新安鎮に等しくその産物としては黄豆、落花生を第一とし小麥、高粱玉蜀黍は之に次ぐ、而して當地は前述の如く大運河沿岸に位する一碼頭たる干係上清江浦、鎮江地方輸送の雜穀其の他物産の集散地にして台兒庄方面よりする嶧縣炭の如きも此の地に來り更に鎮江方面に向ふものとす

第三節　交通

從來大運河による南北交通の外陸路交通は小車、驢馬等によれること一般前者と異ならざるも今や徐海線は當地迄正式營業を開始し居り更に東方新安鎮迄の開通は目前に迫り且つ全線の開通すら數ヶ月後となれる當地は更に台運（台兒庄―運河間）鐵道の布設實現をも見るべくその將來の交通は實に四達の要路となり新安鎮、宿遷を陵駕するも遠からざるべし

今現在の水運に就きて見るにその往來民船は一ヶ年約二百餘隻にして台莊、運河間は河幅四十間以上ありて夏季增水時は水深優に丈餘に達し大型民船の航行自由にして當地通過の旅客、貨物の輻輳すること大なれども減水期に入らんか水深僅に三呎に滿たずして二三十擔積の小型民船の往來あるのみ、更に運河清江浦間を見るに之亦夏季增水期にありては大型民船の航行は勿論清江浦宿遷間は利達公司の小蒸汽船の往來自由なるものあるも減水時に於ては又小型民船の往來のみに止む、而して之等民船による運送は南航は嶧縣炭、豆餅等の輸送、北航は諸雜貨の輸送少なからざるもその第一は旅客の運送とす

次に陸路に就て見るにその西行徐州に至るものも東行新安鎮に至るものも共に鐵路によるものとす南北行は前述の如く民船に依るものにしてその他の陸路交通機關の見る可きもの更になし、而して中興煤礦公司と津浦鐵路局との契約により徐海線開通後三ヶ年内に於て台運鐵路布設さるべく當地の陸運は殆んど全部を鐵路により得るに至るべく遷宿に代りて山東、安徽産物の一大集散地たるべし

第七章　台兒庄

第一節　概況

當地は山東省の最南江蘇省に接するの地両省界に跨り大運河の東岸に位するものとす、縣城は碼頭の西方約二里にあり三叉河を去る七十里中興煤礦鐵路の終點とす、當地は山東、江蘇連絡の主要碼頭たるのみならず所調嶧縣炭として著名なる中興煤炭の南送重要地にして同炭は當地迄鐵路運搬せられ當地より更に運河の便により各地に分配せらるゝものとす

第二節　中興煤礦公司

第一欵　組織

當公司は光緒六年直隸總督李鴻章の上奏により棗莊に中興礦局を設立し舊式炭礦を開ぎに始り中途資金欠乏のため德華中興煤礦公司と改稱し事業を經營せしむ獨乙人の株式應募なかりしため周山東巡撫は商部と相議し支那人のみの出資たることゝし三十一年農工商部の許可を得て登録したり、三十二年德華の二字を去り商辨山東嶧縣煤礦有限公司と改稱す、次で宣統元年政府は周學熙を派し礦區を劃定して三百十七方里と定め株式總會にて總理に張毓藻協理に載理菴を選出し民國元年周立元、胡聖餘外三名の董事を擧げたるに同年九月濟南に於ける株主特別會に於て董事七名、査賬員二名を擧げ而して總理及び協理を廢し改めて正副經理三名を出し正經理に張毓藻、副經理に載理菴、胡聖餘を選出したり

即ち正副經理は二百株々主中より選出して全礦務を掌理し董事は之を補佐するものにして百株々主中より之を選擧す、技師長は外人なるも實權は總理にあるものとす又礦廠事務を分て次の如くす

一、經理辨公處
採堀事務及外部の交渉事務にして工務處、庶務處、大櫃、錢房の四科に分つ
二、工務辨公處
測量及技術方法を辨理す

次にその資本金を見るに宣統元年僅かに八十万両に過ぎざりしが同二年新株百五十萬両を募集し合計二百三十万両とす次で同三年、民國元年、同二年と逐年增資擴張し目下資金五百五十萬元とし一日の出炭豫想量二千屯賣炭利益四十五万両鐵道利益二十萬両の豫定計劃を實現し得るに至れり

第二欵　礦區埋藏量及炭出

礦區は之を三區分し棗莊附近に在り東西長さ約四十里南北約八里面積三百十七方里にして曾て礦山技師邱榮光氏の測量せる際その舊來の土井は皆な唐宋年間に於て開發せられたるもの多しと斷定せらる現在礦區地點左の如し

第一區　嶧縣郭李集西北、棗莊、大小甘林、山家林陶莊一帶　面積三百六方里
第二區　嶧縣郭李集東北安成村一帶　面積五方里六
第三區　嶧縣郭李集東南安成村一帶　面積五方里四

即ち第一區は該公司經營の礦區中最大なるものにして更に之を中、西の二段に分ち第二、第三區を合せて東段とす、蓋し礦區は最低平原地にして其の左右に群山之を圍り盆底の如く礦脈の延長は前述礦區全帶に及び殆んど石炭のみを以て占む尚ほ又嶧縣の北境滕縣の東北境墓山、古山、掉山等の西北一帶及び臍子山、大小福山に包まるゝ東南各地又含炭量豊富なり

その埋藏量に干しては種々の說あれ共大體に於てその量實に二億屯以上に上りその六割を可能採炭量とするも尚一億屯以上にして一ヶ年百萬屯の出炭を見るとして今後尚百十餘年の經營に堪ゆべく其

發行所　青島日本商業會議所

の炭量の豐富なること蓋し想像に難からず

次にその炭質を見るに各層（普通六層と稱す同じからず、第二層尤も良好にして第三第六之に次ぐものとす而して現在採掘せられつゝある第二層炭は良好なる瀝青炭にして粘結性に富み灰分、硫黄分極めて少くその用途は各方面共に歡迎する所なるも骸炭製造用として尤も著名なり

第三欵　本礦の將來

當公司はその含有炭量の豐富及び炭質の良好なると津浦線との特約運賃契約に依る廉價運炭可能なる事は實にその販路擴張上に於ける一大利器とも言ふ可く北は濟南、天津方面に南は長江沿岸に及び年々その販路を擴張し來りしが今や徐海線の完成と共にその販路は更に東方に一大擴張を來すべく先年同公司と津浦線との契約に依り（津浦線は中興煤鐵路臨台線を買收の條件として徐海線開通後三ヶ年内に台兒庄延長線を徐海線の一部に連絡せしむ）臨台鐵路と徐海線との連絡後はその運炭費一層輕減しその販路擴張は更に容易なるべくその將來の活躍はより以上に淄川、博山炭との競爭を現出すべし今その販路並に販賣額及連賃を示すに

一、販路及販賣量

津浦鐵道用	十万屯
浦口	十一萬屯
滬寧鐵道用	五萬五千屯
蚌埠	三万二千屯
濟南	一萬屯
濟寧（中心）	二万屯
台莊より運河運炭	三万屯
山元地賣	三千屯
臨城浦口間	四萬屯
徐州	一萬二千屯
山元自用	四万屯

等はその大なるものにしてその他小需用地あり一ヶ年約五十萬屯以上の販賣炭を有す

二、運賃

二十哩—五十哩	屯哩一仙二
五十一哩—百五十哩	同一仙一
百五十一哩—三百哩	同一仙

なる契約運賃率あるも濟南に於ける山東炭徐州に於ける賈旺炭等と對抗上左記地方は更に特別運賃規定あり

徐州、兗州、濟寧、泰安　屯哩　一仙五
濟南、德州、蚌埠、海州　同　八厘乃至九厘五
天津　同　八厘

今右の計算に依るときは濟南に於ける炭價は山元相場大塊一屯八元に運賃一元二角五八を加へ一屯につき約九元三角にして之に小數の口錢を加算し販賣し得るものにして彼の嶧縣炭の勢力は益々擴大すべき運命に在り而も從來交通不便により發展し得ざりし東方淮北地方及び之を根據とする輸出炭の新方面を得たる該公司の將來は實に洋々たるものあると共に之が運送に當るべき徐海線は淮北塩の輸送と相俟つて實にその收支を補ひて充分なるものあるに至るべし

大正十四年上半期
青島貿易概況

大正十四年上半期の青島貿易統計に見れは歐米各國工業復興の跡を受けて外國品輸入は稍盛況を現はし來りたるも日本輸入品は何れも不況に陷り唯に砂糖に於て聊か氣を强ふし居れるか棉花、綿糸は青島紡績の勃興と支那内地の米棉栽培奬勵により漸次優良棉の產額を增加し來りたる爲從來米棉の輸入により之を混棉とし漸く其品質を保持せるの域を脱し之に代ふるに奥地優良棉を使用するに至りたる爲め自然其輸入を減じたるものにして綿糸の輸入も亦當地紡績の發達に從ひ從來輸入によりて其需要を充したる太番物の販路を茲に讓りたるに過きすして一般需要の減退と見るへきに非す

其他縫針、機械器具等は獨逸品の進出に依りて頗る盛況を呈し石油は米品の獨占場にして他の競爭を容さす砂糖は日本、香港両糖の活躍著しくして昨年に比し五万四千餘担の增加を現はし木材は米材の輸入增加と共に頗る活況を示し來れり而して其減退貨物に就て調ふれは前述の如く綿糸、棉花は大勢に殉し紙卷煙草は捲煙稅の設定に遇ひて不況を續け麥粉も亦米粉の輸入杜絶の爲め不況を現はし來れるか本年上半期米材の輸入四百三万七千立方呎に達し堅材は百四十九万立方尺の增加に止まりしか軟材は七百二十三万二千立方呎に達し四百三十六万一千立方呎の激增を現はし來れり

次に支那品輸入狀況に就て見るに昨年上半期と比較し盛況を現したるは綿糸、麻袋、豆粕、上海米、砂糖等にして減退の著しきものは紙卷煙草、棉花、小麥粉木材等にして之を總額の上より見るときは昨年及本年の上半期輸入は增減の差大差無かるべし次に大正十四年上半期輸入貨を十三年全期と比較すれは左の如し

青島港輸出入貨物上半期統計

輸入外國品

品名	單位	十三年上半期	十四年上半期	比較
棉花	擔	一五一・二四一	一〇〇・五二五	△五〇・七一六
棉縫糸	〃	一六四六八	九・三三八	△七・一三〇
棉糸（印度）	擔	—	二四	○二四
同（日本）	同	三六五〇八	二三・九二五	△一二・五八三
末鍍金鐵及網鐵條	同	三三・〇一四	二〇・七三四	△一一・二八〇
鐵片及鐵板	同	二三・七二二	一七・二八五	△六・四三七
麥酒サイダ	同	四四六五	六・七九一	○一・三二六
鈕	同	四三・三四四	二七・四七八	△一五・八五六
洋灰	同	六・二九二	三〇・二九七	○二四・〇〇五
米	同	二九・四八三	五六・五一七	○二七・〇三四
磁器	同	二三・三一五	三二・二三〇	○八・七〇五
紙卷煙草	同	二五・五四九	一六四〇六	△九・一四三
時計	〃	一二・二四五	二五・八四九	○一三・六〇四
石炭	〃	六・五九六	七・二九九	○七〇三
噸	〃	三五一・二七二	一八九・七二二	△一六一・五四九
アニリン染料	〃	二八・七一四	三三・五一六	△五・一九八
人造液體藍	〃	一六〇・一〇九	一〇六・九六〇	△五三・一四九
電氣器具材料	〃	一八・七七一	一二・五八九	△六・一八二
琺瑯引器具	打	一〇九・〇八二	三三・八七七	△七五・二〇五
麥粉	擔	一六・八〇三	一一・八四三	△四九六
硝子及水晶キ具	〃	五九・七八七	四三・六七一	△一六・一一六
燈火用具	〃	五八・一・九四	三九六・一・七一	△一八五・〇二三
蓆	枚	一七九・三〇三	二六三・九五四	○八四・六五一
縫針	千本	一四六・七〇〇	一九〇・二〇一	○四三・五〇一
揮發油類	カロン	一・六四六・四六〇	三・八七〇・六二七	○二・二四・一六七
石油箱入米品	同	三・一八〇・〇五二	三・二三四・一四八	△四五・九〇四
同裸米	同		五四九〇	○・七九〇
同箱入（日本）	同	七〇〇	四・〇〇〇	○四・〇〇〇
同スコトラ箱入	同	六〇・〇〇〇	三三・八一四	△三・八一四
滑物油	同	三三・〇〇三	二九九・二一九	○二〇〇九
紙主ニパルプ	擔	三三・九七九	一二・九七〇	△五・七四九
昆布類	〃	二・〇八五	三・六六四	○四・五五八
同化粧	〃	一九・二九三	二三・八五一	○二・三六七
曹達	擔	三三・七一八	三〇・三八六	△七・〇二七
藁繩	同	一六・九三五	九・九〇八	△二九四二
赤砂糖	同	一〇九・二四二	一〇五・三〇〇	△一七・二四二
白砂糖	同	二九・五四九	四六・七九一	○一五五・一六二
太白砂糖	同	一一七・五九八	三七・五六四	○二・一五五
氷砂糖	同	一六・六三〇	一八七八五	○三四一四
木材堅	千立方呎	一・七一八	三・四一四	○七・三三二
同軟	同	二八七一	七・二三二	○

輸入支那品

雲齊布	疋	一三・九三〇	一一・五九〇	△二・三四〇
シーチンク	疋	八九・四二四	四四・五〇四	△四四・九二〇
綿糸	擔	二七・六三九	二七・九二〇	○二八一
麻袋	同	一九・五五〇	三五七・〇八〇	○三三七・五三〇

竹簾	個	一・一六二・八四六	一・一〇五・三八四	△
竹筵	擔	九・一七八	一三・八九三	○
豆粕	同	二七	八九・九七五	○
米	同	二六・〇〇〇	五八・四六九	○
高粱	同	五三・七九七	七九〇・五四五	○
玉蜀黍	同	二六・二四〇	二三・五七〇	△
紙卷煙草	同	四八・五七九	二四・三二六	△
石炭	噸	四・八一八	四・二五	△
棉花	擔	八〇・九二四	六六・七六八	△
小麥粉	同	三九・八二九	二四・二七	△
桐油	同	六・三一九	四・六六二	△
紙 一等品	同	四・七三三	七・五七六	○
同 二等品	同	五二・三九七	九二・三〇五	○
生糸精品	斤	二・八七八	九・七五五	○
石礦條型	擔	五二	一・五八七	○
赤砂糖	同	二・三三六	九・一八二	○
白砂糖	同	一八七	九六	△
茶	同	四・三〇三	四・七六八	○
本材 軟材	平方呎	三・二八五〇一	四六六・八五一	△
同 同	同	七〇五・〇一五	一〇八・七九五	△
同 堅	立方呎	—	一〇・七九五	○
同 同	同	九三七〇	六九五八	△

輸入品　外國品

○木材　堅木材　木材の輸入を見るに前年上半期に於て日本より百六十六万一千立方呎上海より五万四千立方呎此他大連より二千四百九十五万呎を見たるのみにし○合計百七十一万八千餘立方呎に過ぎざりしか本年上半期に於て日本よりの輸入は益々盛況を呈し三百十六万五千餘立方呎に達し上海も亦十三万五千餘と増加を現はし大連は僅かに三千立方呎と減退せるも新たに米材の十一万一千立方呎を輸入せる爲め合計三百四十一万四千立方呎と昨年に比し百六十九万六千餘立方呎の増加を示せる此狀態は主として山東奥地炭坑の擴大と共に坑木の需要を増大せる　方鐵道用枕木の需用も亦膠濟鐵路一部改築の爲め其數を増加せるものにして日本輸入堅材は全輸入數の九十六％を占め頗る需要の範圍を擴張し來れるを見る

軟木材　建築用軟木材の需用は年々増加の趨勢を辿り殊に山東及奥地々方は木材の産出乏しく建築用材は悉く日本材米國材福岡材等の供給により漸く滿足するの狀態にして本年は其輸入を範圍を縮少し單に日本米國上海三港よりの輸入に止まりしか割合は日本より二百七十二万三十立方呎上海より四十七万二千立方呎の輸入を爲したるに過ぎざりしか米材は特に擡頭し本年上半期に於て四百三万七十立方呎の輸入を爲したるは之を奥地需要の増加と見るべきは勿論なるも米國材の如き遠國地方により一時に於て多數を輸入する場合は當地商況に拘ら大數量材木の輸入を爲す事珍らしからす之等は悉く委託販賣の徑路により支支那材木商に引受けらるゝものにして其一部の代金を支拂ふに過きす此方法は支那の相きに商業を爲さんする外國人の均しく採る處にして支那の事情を理解せるものと云ふへし

○疊及吳座　當港輸の本品は日本製品を第一とし疊表及花莫蓙等の需要旺んにりて疊は邦人以外の需要を喚起せさるし花莫蓙及蓆は支那人間の需要夥しく毎年百餘万枚の輸入○○たりしか本年上○の日本品輸入は比常の不況を示し昨年同期にの四十四萬三千五百餘枚に比し本年は二十七萬九千の輸入ありたるに過きす香港輸入の亦幾分減退を現はし十一万六千餘枚に下り約二万枚の減退となりたる本年上半期支那一帶の騷擾脩まらす紡績の罷業に繼て排英となり廣東の如きも英對支間の戰禍を釀する狀態となりて良民は安定を得られさりし等は本品にも亦影響を及ほすに至りたるものなるを思はしむ

時事

埠頭業務概況（七月中旬）

本旬入港船舶は合計二十九隻四六、〇六四屯出港船舶は三十二隻四七、二〇八屯にして昨年同期に比較し入港は六隻を減少せるも登簿屯數に於て四、〇八〇屯を増加し出港は二隻を減少せるも登簿屯數に於て六、二八六屯を増加せり、今本旬出入船舶の隻數屯數及び所屬國籍を區分すれば左の如し

入港

支那	九隻	七、四〇六噸
日本	一四同	一六、七二八同
英國	一同	四、二八四同
米國	二同	六、八一一同
其他	三同	一〇、八三五同

出港

支那	九同	七、八六七同
日本	一八同	二〇、八八三同
英國	一同	四、二八四同
米國	一同	三、三三九同
其他	三同	一〇、八三五同

而して旬末埠頭の繫船は合計三隻六〇五八屯にして内譯は支那船一隻六一〇屯日本船一隻一、九七六屯米國船一隻三四七二屯なり

本旬輸出總額は合計一五、八九二屯八にして昨年同期に比較し五一三屯六を減少せるが各重要貨物は猶略増加を示し今輸出地別及増減數量につき詳言すれば上海仕向の麥酒石炭等一千六百餘屯を減少香港仕向の貨物は三百餘屯減少日本内地仕向の葉煙草牛肉桐材石炭等四百餘屯減少朝鮮仕向の麥稈眞田石炭等四百四十餘屯減少せるも、其他支那各港仕向の花生棉花等一千八百餘屯増加其他各國仕向の花生其他四百九十餘屯を増加大連仕向の貨物は昨年同期に比較し大なる増減なし

本旬輸入總額は合計八、九七八屯五にして昨年同期に比較し九、〇二九屯六を減少原額に比し一倍以上に相當するの奇異なる現象を呈せるが其の重要貨物は煙草砂糖材木礦石等にして今仕出地別及び増減數量に就き記せば、大連仕出の材木洋灰等二百九十餘屯を減少上海仕出の煙草綿布洋物雜貨等二千五百餘屯減少香港仕出の貨物は本旬輸入無く一千七百餘屯減少其他支那各港仕出の煙草材木紙類等二百七十餘屯減少朝鮮仕出の貨物は本旬輸入無く四百六十餘屯減少其他各國仕出の材木其他四千一百餘屯を減少せるも、日本内地仕出の砂糖綿布綿糸等四百二十餘屯を増加せり

○重要輸出品屯數仕向地別表

品名＼仕向地	大連	上海	香港	支那各港	日本内地	朝鮮	其他外國	計
豆粕	—	—	—	—	—	—	—	—
花生	—	五九九四	—	二一二九一	二五五八	二三一	一四二八六七	—
葉煙草	—	九八〇	—	三七	七三五	—	一七五二	—
鷄卵	—	—	—	—	四二七〇	—	四二七〇	—
牛肉	—	—	—	—	三〇四六	—	三〇四六	—
鹽類	—	—	—	—	—	—	—	—
麥酒	三三二	—	—	—	六二五	—	三九五七	—
棉花	一二七九	一三四八	—	一五三七	七四二六	九三	—	一二四八三
麥稈	—	—	—	—	—	—	三三二	三三二
生牛	二一五	—	—	—	三五五	—	五七〇	—
豚牛脂	—	三四	—	—	六三一	四二四	—	一〇八九
生乾牛皮	〇八	一八八	—	—	一四三	五八	—	三九七
豆油	—	—	—	—	—	—	—	—
生油	—	—	—	—	一〇二五	—	—	一〇二五
桐材	—	—	—	—	一八〇二	—	一八〇二	—
骸炭	—	三三四〇	—	—	四五一〇	一三四〇	—	九〇九〇
石炭	—	三八三〇〇	—	—	一三〇〇〇	—	五一三〇〇	—

○重要輸入品屯數仕出地別表

品名＼仕出地	大連	上海	香港	支那各港	日本内地	朝鮮	其他外國	計
高粱	—	—	—	—	—	—	—	—
白米	六九	—	—	〇四	—	—	七三	—
豆類	—	四一	—	〇三	—	—	四四	—
豆粕	五七〇〇	—	—	—	—	—	五七〇〇	—
煙草	二三二	二七一三	—	〇四	—	—	二九四九	—
砂糖	—	二八九	—	—	九〇五	—	一二九四	—
海産類	〇四	—	—	—	一七	七五	—	七九
綿布	—	三六三	—	—	—	一二八四	一五四六	—
綿糸	—	一三六	—	—	二四九二	二六二八	—	—
石油	—	—	—	—	—	—	—	—
蔴袋	二三	—	—	—	一三〇	—	一四二	—
材木	二一七	四三一六	—	三八九二	八六	—	八五一一	—
紙類	—	五三〇一	—	—	五二四	—	一二三	五八四七
燐寸	—	—	—	—	—	—	〇三	—
洋灰	—	八八五	—	五九五	—	—	一四八〇	—
礦石	—	—	—	—	一六	—	一六	—
洋物雜貨	〇九	九九六	—	—	二六九	—	三二	一三〇六

青島に於ける邦人戸口數

十四年七月末調査

大正十四年七月末の調査によれは現在青島に居住せる邦人全戸數は三千五百六十九戸にして人口男六千七百七十人女六千七百五十人合計一万三千百二十人前月に比すれは青島市は戸數に於て三十四戸人口百十四人の増加となり台東鎮も一戸三名の増加を現在しか滄口は戸數十戸人口十六名の減少を示せるか四方は却て増加し戸數五戸人口三十三の増加を現せり今其地方別人口を示せは左の如し

○青島市　日本人

戸數　二千八百二十五戸

男　五千五百五十六人
女　五千六百一十二人　計一万百六十八人

朝鮮人

戸數　二十七戸

男　五十五人
女　六十五人　百二十人

○台東鎮

戸數　百四十三戸

男　二百四十一人
女　二百十人　計四百五十一人

○四方庄

戸數　二百四十二戸

男　三百九十二人
女　三百七十四人　七百六十六人

○滄口

戸數　三百三十二戸

男　五百二十六人
女　四百八十九人　計千十五名

○管内合計

戸數　三千五百六十九戸
男　六千七百七十人
女　六千七百五十人　計一万三千五百二十人

銀塊並爲替（自八月十七日至八月廿二日）

◆銀塊

先週來强調を辿つて今週も倫敦紐育共依然聢り月曜は支那、印度買人とて忽ち三ポイント方躍進現三十二片十六分の七先三十二片二分の一を唱へ火曜保合、然るに水曜支那印度の賣人に反落三十二片四分の一となつたが爾後ヂリ高氣配にて三十二片十六分の五から三十二片八分の三見當を上下せり

◆爲替

傾來高騰氣配を持したる上海爲替は本週に入つてからは頗る多端にて一方銀塊の高値な事の外に印度各地方洪水入報も手傳つて支那人爲替賣人折柄張作霖の死去説が流布されたゝめ支那人の圓に對する賣人氣を益々煽りしも大体に於て銀行筋が良く買應じたる爲さまで慘落を演出せざりき相場は週初對英三志二片四分の一對米七十七弗四分の一對日五十三両標金二五六兩四〇週央三志二片二分の一對米七十八弗對日五十二兩二分一標金二五六兩二〇週末三志二片十六分の九、七十八弗、五十二兩四分の一標金二五四兩四〇

金銀相場表

	十七日	十八日	十九日	廿日	廿一日	廿二日
倫敦銀塊	三-1/4	三-7/16	三-7/16	三-1/4	三-5/16	三-5/16
紐育銀塊	七〇-1/8	七〇-3/4	七〇-3/8	七〇-1/8	七〇-3/8	七〇-1/2
上海標金	二五八・四〇	二五四・六〇	二五六・二〇	二五六・六〇	二五六・六〇	二五五・二〇
齊燕公所取引高	六八一五	六八一〇	六八一〇	六八〇五	六八〇〇〇	六八〇七五
所銀〆低	一三七六五	一三八七〇	一三八二〇	一三七七〇	一三八二五	一三九四五
	一三六九〇	一三七五五	一三七六〇	一三七二〇	一三七七〇	一三八一五〇

爲替相場表

	十七日	十八日	十九日	廿日	廿一日	廿二日
英米爲替	四八五-7/8	四八五-7/8	四八五-1/16	四八五-3/4	四八五-3/4	四八五-3/4

商況（自八月十七日至八月廿二日）

重要商品市況

正金日本向	一三五・五〇	一三六・五〇	一三六・〇〇	一三六・〇〇	一三六・五〇	一三七・〇〇
同　倫敦向	二三-9/16	二三-13/16	二三-11/16	二三-11/16	二三-11/16	二三-7/8
同　米國向	五五-3/4	五六-1/4	五六〇	五六〇	五六〇	五六-1/4
同　上海向	七一-5/8	七一-5/8	七一-5/8	七一-5/8	七一-7/8	七二〇
同　天津向	101-00	101-00	101-00	101-00	101-00	101-00
同　滿洲向	101-五〇	101-五〇	101-五〇	101-五〇	101-五〇	101-五〇

◆綿糸布

引續く滿洲の商盛にて週初更に營口大連筋の買氣旺盛主に童魚十手金貨十六手銀月十六手を買進み問屋筋此を機會に先物に乘替を試みて稍活況を示せしも爲替の崩落にて相場甚だしき不出合に立至り兩三日にして此勢も挫けたり爾來高陽筋を背景とする濟南筋の値惚れ買ひありしも數量纏まらず一般沿線實需筋の總見送にて問屋筋賣急ぎ相場漸落氣配軟調

綿布は秋季需要期の弗々迫れるにて先物に對し安値買覘に見ゆれ共日本の相場浮動と爲替の落潮を眺めて未だ買動かず

本週中成行相場左の如し

	十八日	二十日	二十二日
童魚 10	一四六、二五	一四六、二五	一四六、二五
銀月 16	一六七、七五	一六七、七五	一六七、〇〇
金貨 16	一六六、五〇	一六六、五〇	一六六、〇〇
五彩星 16	一六五、五〇	一六九、二五	一六四、五〇
銀月 20	一八一、五〇	一八二、〇〇	一八一、〇〇
宮女 20	一七八、五〇	一七七、二五	一七七、〇〇
寶船 20	一七七、七五	一七六、七五	一七六、五〇
花蝶 32	二一二、五〇	二一五、〇〇	二一三、〇〇
双鹿 32	二一八、〇〇	二一九、五〇	二一七、〇〇

◆花生及生油

西南口物週初十一元二十仙週央十一元十仙週末十元八十仙殼付週初七元九十週末八元にて週末に約五千俵出來生油は二十一元二十仙より二十一元丁度に下押、先物取引は殼無九元四十仙より九元三十仙に下押殼付は八元二十仙にて五十屯、八元十五仙にて五十屯合計百屯出來、爲替の暴騰と買人の買据へにて相場大部下押せり

◆麥粉麩

爲替の不利、比較的安價にて原料を入手し得ること、麩が比較的高値に賣れること、約定物がどし〳〵入り來りストックの增加せる事等にて相場下押し綠鹿三元四十六、七仙より三元四十四仙に綠兵船三元三十五仙より三元三十仙に綠ダイヤ三元四十五仙より三元四十仙となる、麩は先安見込にて內地買はざると爲替不利のため殆んど相場なきも當地庫渡三元三十仙見當、來月に入れば內地も相當需要起る見込なり

◆石炭

最近輸出炭の方は上海の荷役問題も片着き積出し得るに到りたるも目下一年を通じての最も不需要期にあるため新甲契約無きも今迄の契約物積出あり支那人の手にて大部積出されつゝあり新に支那人が廣東方面にも積出すに到れり

日本向は爲替の不利にて全然不振地賣も相不變閑散を極む、週間當港積出は上海向博山炭四、八〇〇屯仁川向コークス一四〇〇屯廣東向博山炭二、二〇〇屯は淄川炭五五〇屯博山炭四一〇屯なり

◆牛肉

當地出廻り良好なるも內地買氣一服にて氣配幾分軟弱模樣相場一寸軟化し上十三仙中十二仙二三厘下十一仙七八厘と二三厘方下落目先尙軟調を辿る模樣なり

◆鷄卵

內地相當買氣あるものゝ如く當地は週初出廻不良なりしも週末漸次良品の出廻り增加し相場は保合つゝあり

取引所市況

◆錢鈔

各地市場の銀高報にて當市場はマバラ筋の買氣と賣屋の小口煎れに前週末より六十五錢高の一三七円丁度に始り爾後日米軟化上海標金の下押を客れてヂリ高歩調を辿り週央一三八円七十錢を覗く、その後日米爲替の動搖に當市場も七、八十錢方の大幅往來に推移週高値は一三九円四十五錢を覗き十五錢に下押して本週を終る

◆物産

生實十二月限週初九元三十仙週央九元二十三仙週末九元三十八仙、生油は十、十一月限開會せず十二一月限は廿六日より開會する事となれり、八月限週初二十元八十仙週央廿元六十仙週末廿元二十仙、九月限廿一元八十仙見當保合

◆綿糸

現物の二十手平均一両高に刺激され前週末より七匁五分高の一七九両七匁五分に始り週央八十両台に上伸せるも商內閑散に推移週末一七八両台に下落す

海運陸運

○春日丸（八月十二日出帆）

○鷄卵	神戸	六八	宇品	三七
門司	三〇三	計	六七八箱	
○落花生實	大阪	一-000	神戸	一-五〇〇
宇品	一-0110	門司	100	
熱田	二五〇	計	四-三七〇袋	
○桐	材	桐丸太	大阪	二九本
下駄台	大阪	八〇	門司	八
計	八八梱			
○棉花	神戸	九七	門司	一六三
計	二六〇梱			
○麩	神戸	一-000袋		
○落花生粕	神戸	六七三袋		
○牛皮	大阪	二八梱		
○銅塊	大阪	一-九二三本		
○牛油	門司	二三八罐		
○繭屑	神戸	二三五包		

○第一日青丸（八月十二日出帆）

○棉花	神戸	六九梱		
○桐材	丸太	大阪	九四本	
下駄材	大阪	三四四梱		

○新高丸（泰山丸代船）（八月十七日出帆）

○鷄卵	大阪	一二〇	神戸	八七
宇品	一五〇	門司	一七二	
計	五-九〇箱			
○落花生實	大阪	一-000	神戸	三-九〇〇
宇品	三五〇	門司	一五〇	
計	五-四〇〇袋			
○桐材	丸太	大阪	一九本	
下駄材	大阪	三八〇梱		
桐板	大阪	六〇梱		
○棉花	神戸	四二〇	宇品	三一
門司	二〇〇	計	六六一梱	
○牛皮	大阪	二〇梱		
○牛油	大阪	八三罐		
○麩	大阪	三-000	神戸	三五〇〇
○桐塊	大阪	一九三本		
計	六五〇〇袋			

○訂正（鈴浦氏調査統計表中）

青島港輸出花生及生油統計表一、二月份中に於てその後誤謬を發見せるにより左記の如く訂正す

（F A Q）

仕向地	一月 舊	一月 訂正	二月 舊	二月 訂正
安府	九〇〇	一-〇五〇	二〇〇	一-一〇〇
バルセロナ	一-二七五	一-三〇〇	八〇〇	八二五
コンスタンチノーブル	〇	二〇	〇	二〇
ダンカーク	二〇〇	四二五	—	—
ゼノア	一六〇	七四五	—	—
ハーバー	—	〇	五五〇	
倫敦	六三五	九三五	一〇〇	一五〇
マーシヤル	—	〇	二〇〇	
マルセイユ	二-二二五	二八七五	—	
ロツテルダム	一-三七五	二-三七五	七〇五	八一〇
シヤイ	〇	三三五	〇	一〇〇
上海、廣東	—	七六八	一-〇六三	—
バレンシア	四-一〇〇	四-七七五		
（選實）				
紐育	九〇〇	六九五-1/2	六九六	九七八
フイラデルフイア	—	—	—	一五〇
ポートランド	—	—	—	五五〇
桑港	四-七八-1/2	五-二七九-1/2	—	—
沙市	—	一-三三五	七一〇	一-二八五
バンクーバー	〇	九〇	〇	一五〇
（生油）				
大連	一六五	二八〇	—	—
倫敦	—	—	九五七	一-九七八
桑港	五五六	五六〇	—	—
沙市	—	九四三-3/4	一-〇五四-3/4	一-九八三-3/4
上海、廣東	九〇〇	一-二〇〇	—	—
（殼付）				
アムステルダム	九〇	九五	—	—
ゼノア	—	—	八五	一三五
漢堡	四三五	七四〇	—	—
リバプール	二三五	二五〇	—	—
マルセイユ	—	—	五一二	五七七
紐育	〇	二五	—	—
ポートランド	—	—	五〇	六〇
サンペドロ	〇	五〇	—	—
タコマ	〇	四〇	〇	二五
バンクーバー	〇	七七五	—	—
Tsilladgho	〇	一〇〇	—	—
計	六五〇〇袋	大阪	一九三本	

寄贈書類（自八月十七日至八月廿二日）
一、月　報七　月　號旭　商業會議所
一、上海工人會は承認すべきか　大阪市役所
一、商工時報第八號商工書商務局
一、內外商工時　第八號商工省商務局
一、月　報第一三二號四日市商業會議所
一、大阪の商工業者第五七號大阪市役所產業部
一、支　那第八號東亞同文會調査部
一、海外商報每　號外務省通商局
一、油肥內報每　號神戸油肥新聞社

編輯兼發行人　島津思男

青島物價表

大正十四年七月末調査

▲貿易品

○綿糸（兩建）

品名	單位	最高	最低	月末相場
銀月16	俵四十玉建	一六八・三五	一六五・五〇	一六六・三五
金貨16	同	一六七・三五	一六四・五〇	一六六・〇〇
五彩星16	同	一六七・五〇	一六四・五〇	一六五・三五
花蝶16	同	休	紡	中
扇面16	同	—	—	—
福助20	同	一八二・〇〇	一七四・〇〇	一七八・〇〇
銀月20	同	一九〇・〇〇	一七八・五〇	一八一・三五
寶船20	同	一八三・〇〇	一七六・五〇	一七八・五〇
宮女20	同	一八三・〇〇	一七五・七五	一七九・〇〇
雙鹿32	同	二四九・〇〇	二二一・〇〇	二三五・〇〇

○綿布（兩建）

品名	單位	最高	最低	月末相場
旭BB細布	疋	六・六〇	六・四〇	六・五〇
鳴鳥	同	六・六五	六・四五	六・五七五
世樂	同			
水月粗布	同	出	來不	申
日之出扇天竺	同	見當ナシ		
馬美人天竺	同	同		

○燐寸（銀建）

品名	單位	最高	最低	月末相場
雙喜 木箱入	箱	三五・五〇〇	三五・〇〇〇	三五・五〇〇
同 安平入	包	三一・五〇〇	三一・〇〇〇	三一・五〇〇
三陽 木箱入	箱	三五・五〇〇	三五・〇〇〇	三五・五〇〇
同 安平入	包	三一・五〇〇	三一・〇〇〇	三一・五〇〇

○落花生（銀建）

品名	單位	最高	最低	月末相場
落花生（殼付）	担	九・八〇	九・四〇	九・三〇
花生實（西南口物）	同	一三・一〇	一二・六〇	一三・一〇
落花生油	同	二四・七〇	二四・二〇	二四・五〇

○麥稈眞田（兩建）

品名		單位	最高	最低	月末相場
披平編 六ミリ	上	一包	一四〇	一四〇	—
同 七ミリ	上	同	一二〇	一一〇	一二〇
同勉編 八ミリ	並	同	六〇	五五	五五
原草 七ミリ	上	同	七〇	六五	六五
同 八ミリ	上	同	六〇	五五	五〇
興濟 六ミリ	上	同	一六	一六	—
同 九ミリ	上	同	九〇	八五	八五
浮邱 十ミリ	上	同	五八	五五	五五
同 十一ミリ	上	同	五五	五三	五三
寧陽 十二ミリ	並	同	四八	四八	四八
鹿邑 十三ミリ	並	同	四八	四八	四八
惠濟 十三ミリ	上	同	四二	四〇	四〇
陽信 十三ミリ	並	同	四五	四五	四五

○麻袋（銀建）

品名	單位	最高	最低	月末相場
青筋入 新	一枚	五八	五五	五九
同 特一等	同	四六	四三	四四
同 一等	同	四三	四〇	四一
同 二等	同	三九	三七	三八
鐵筋入 新	一枚	五五	五五	五五
同 特一等	同	三五	三三	三四
同 一等	同	三三	三〇	三三
同 二等	同	二九	二八	二八
同 三等	同	一九	一八	一八

○鷄卵（銀建）

品名	單位			
二八〇物	千個	一四・九〇	一三・五〇	一三・五〇
三〇〇物	同	一三・九〇	一二・五〇	一二・五〇
三六〇物	同	一二・一〇	一〇・八〇	一一・〇〇

○牛（銀建）

品名	單位			
生牛	一キロ	二一・五	二〇・五	二一・〇
生肉	百匁	一三・〇	一〇・八	一三・〇

○牛皮（兩建）

品名	單位			
改良皮 大皮	担	五〇・〇〇〇	四八・〇〇〇	五〇・〇〇〇
同 中皮	同	三八・〇〇〇	三五・〇〇〇	三七・五〇〇
土乾皮 大皮	同	三〇・〇〇〇	三〇・〇〇〇	三〇・〇〇〇
同 中皮	同	三三・〇〇〇	三〇・〇〇〇	三三・〇〇〇
同 小皮	同	四九・〇〇〇	四五・〇〇〇	四九・〇〇〇

○桐材（銀建）

以下前月末ト比較ヲ示ス　○ハ騰貴　×ハ保合　△ハ下落

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
丸太堅口	才	一八五	一八〇	○	〇〇五
同 軟口	同	一三五	一三五	×	
下駄台					
天目堅口	足（普通品）	四〇〇	四〇〇	×	
同 軟口	足	二八〇	二七〇	×	
橫目堅口	同	一五〇	一六〇	△	〇一〇
同 軟口	同	一四〇	一四五	△	〇〇五
甲良堅口	同	一二〇	一二五	△	〇〇五
同 軟口	同	一一〇	一一〇	×	

○石炭（銀建）

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
淄川塊炭	噸	一〇・五〇〇	一〇・五〇〇	×	
同 粉炭	同	六・〇〇〇	六・〇〇〇	×	
博山塊炭（大山炭）	同	一〇・〇〇〇	一〇・〇〇〇	×	
同（小山炭）	同	九・五〇〇	九・五〇〇	×	
若松塊炭	同	一三・〇〇〇	一三・〇〇〇	×	
改良コークス	同	一八・〇〇〇	一八・〇〇〇	×	
土釜	同	一三・〇〇〇	一三・〇〇〇	×	

○肥料（銀建）

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
牛骨	百斤	相場ナシ			
骨粉	噸	九五・〇〇〇	九八・〇〇〇	△	三・〇〇〇

▲建築材料

○木材（金建）

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
松 並四分板	一坪	一・五〇〇	一・五〇〇	×	
同 二間正四分板	同	二・二〇〇	二・二〇〇	×	
同 正六分板	同	三・二〇〇	三・二〇〇	×	
同 正一寸板	同	五・二〇〇	五・二〇〇	×	
同 正一寸角	一本	一八〇	一八〇	×	
同 二寸角	同	六五〇	六五〇	×	
同 二寸—三寸	同	九五〇	九五〇	×	
同 三寸角	同	一・三〇〇	一・三〇〇	×	
同 四寸角	同	二・五五〇	二・五五〇	×	
松 中槓（三寸四分—五分）	同	三〇〇	三〇〇	×	
同 大槓（三寸六分—六分）	同	三五〇	三五〇	×	
同 木摺	一坪	一・二〇〇	一・二〇〇	×	
鹽地杣角	一才	二〇〇	二〇〇	×	
栓杣角	同	二〇〇	二〇〇	×	
檜杣角	同	二〇〇	二〇〇	×	
北滿白松	同	一六五	一六五	×	
北滿赤松	同	一七五	一七五	×	

○セメント（銀建）

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
唐山	一樽	五・八〇〇	五・八〇〇	×	
淺野	同	五・三〇〇	五・三〇〇	×	

○硝子（金建）

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
磨板硝子厚1/4以上	尺坪	三・七〇〇	三・二〇〇	×	
同 36×46以下寸ノモノ	同	三・〇〇〇	二・七〇〇	×	
並質厚卅四オンス	百尺坪	八五・〇〇〇	八五・〇〇〇	×	
同 寸法小ナルモノ	同	七〇・〇〇〇	七〇・〇〇〇	×	
同 二十四枚入以下 寸法小ナルモノ	同	五五・〇〇〇	五五・〇〇〇	×	
並質厚二十四オンスモノ					
寸法大ナルモノ	同	四五・〇〇〇	四五・〇〇〇	×	
寸法小ナルモノ	同	三〇・〇〇〇	三〇・〇〇〇	×	
並硝子厚十六オンスモノ					
舶來品寸法大ナルモノ	同	一〇・五〇〇	一〇・五〇〇	×	
同 寸法小ナルモノ	同	一〇・〇〇〇	一〇・〇〇〇	×	
日本製品	同	一〇・五〇〇	一一・五〇〇	△	一・〇〇〇
同 寸法大ナルモノ	同	一一・五〇〇	一二・五〇〇	△	一・〇〇〇
ワイヤ入ガラス	尺坪	〇・六五〇	〇・六五〇	×	
舶來厚鏡	同	二・七〇〇	二・七〇〇	×	
英國製硝子切三號	一本	四・〇〇〇	四・五〇〇	△	五〇〇
各模樣型硝子（青乃至茶色）	尺坪	五・五〇〇	五・五〇〇	×	

○金物（金建）

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
丸鐵 平均	十貫	五・〇〇〇	五・一〇〇	×	
鐵板 十三入 3'×6'	一枚	一・二〇〇	一・二〇〇	×	
同 五八厘平均3'×6'	十貫	七・六〇〇	七・四〇〇	○	二〇〇
平板 #30×3'×6'	一枚	一・五三〇	一・五〇〇	×	
同 #26×3'×6'	同	二・二〇〇	二・二五〇	×	
浪板 #30×6'	同	一・三〇〇	一・三〇〇	×	
同 #26×6'	同	一・九〇〇	二・〇〇〇	×	
洋釘平均百斤入	一樽	三・七〇〇	三・五〇〇	○	二〇〇

○煉瓦及瓦（銀建）

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
獨逸型機械赤	千個	一三・〇〇〇	一三・〇〇〇	×	
日本型赤	同	—	—		
黑煉瓦	同	九・〇〇〇	八・五〇〇	○	五〇〇
手押煉瓦	同	八・五〇〇	八・〇〇〇	○	五〇〇
獨逸型波瓦	同	三六・〇〇〇	三六・〇〇〇	×	
鱗型瓦	同	二六・〇〇〇	—		

○ペイント（金建）

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
滿ペイント製品A廿八封度入					
白亞鉛ペイント	一罐	九・七〇〇	九・七〇〇	×	
白鉛 同	同	九・七〇〇	九・七〇〇	×	
黑色 同	同	五・九〇〇	五・七〇〇	×	
黃色 同	同	五・五〇〇	五・六〇〇	△	一〇〇
錆色 同	同	四・三〇〇	四・一〇〇	×	
綠色 同	同	六・四〇〇	六・二〇〇	×	
赤色 同	同	三・二〇〇	三・二〇〇	×	
赤錆色 同	同	四・九〇〇	四・九〇〇	×	
鼠色 同	同	六・三〇〇	六・三〇〇	×	
光明丹	同	九・四〇〇	九・四〇〇	×	
ボイルド油（十六斤）	同	一四・〇〇〇	一四・〇〇〇	×	
ワニス（四分ノ一哦入）	同	一・四〇〇	一・四〇〇	×	
エナメル（一哦入）	同	八〇〇	八〇〇	×	
コールタール	同	一・六〇〇	一・六〇〇	×	
カーバイド	同	四・五〇〇	四・五〇〇	×	

▲日用品（以下全部金建）

□白米

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
朝鮮米（三斗入）	一叺	一五・九五〇	一五・三五〇	○	六〇〇
滿州米（磨キ）	同	五斗入 一四・四〇〇	三斗入 一三・八〇〇	○	六〇〇
精麥	同	八・五〇〇	八・五〇〇	×	

□豆類

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
黑大豆	一升	五〇〇	五〇〇	×
白大豆	同	四五〇	四五〇	×
小豆	同	五〇〇	五〇〇	×
隱元豆	同	七〇〇	六〇〇	×

□麥酒

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
キリン麥酒	打	三・九〇〇	三・九〇〇	×
アサヒ麥酒	同	三・九〇〇	三・九〇〇	×
サッポロ麥酒	同	三・九〇〇	三・九〇〇	×
青島ビール（銀建）	同	三・一五〇	三・一五〇	×

□清酒

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
白鶴	一升	二・二五〇	二・二五〇	×
菊正宗	同	二・二五〇	二・二五〇	×
櫻正宗	同	二・二五〇	二・二五〇	×
東洋一	同	二・〇五〇	二・〇五〇	×
千福	同	二・二五〇	二・二五〇	×

□清涼飲料

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
リボンシトロン	打	二・九〇〇	二・九〇〇	×
ライオンシトロン	同	二・四〇〇	二・四〇〇	×
ライオンサイダー	同	二・一五〇	二・一五〇	×
ウヰルキンソン炭酸水	同	二・八五〇	二・八五〇	×

□醬油

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
龜甲萬	一升	一・二〇〇	一・二〇〇	×
上山サ	同	一・二五〇	一・二五〇	×
龜甲寶	同	一・一〇〇	一・一〇〇	×
龜甲又	同	一・一〇〇	一・一〇〇	×
龜甲井	同	一・〇〇〇	一・〇〇〇	×
大印	同	一・〇〇〇	一・〇〇〇	×

□肉類

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
牛肉ヒレ	百匁	五〇〇	五〇〇	×
同 ロース	同	三五〇	三〇〇	×
同 上	同	二八〇	二八〇	×
同 中	同	二五〇	二五〇	×
同 下	同	二〇〇	二〇〇	×
鷄肉	同	六〇〇	六〇〇	×
豚肉	同	三五〇	三五〇	×

□罐詰類

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
赤貝	一個	四〇〇	四〇〇	×
鰹	同	四〇〇	四〇〇	×
海苔	同	二五〇	二〇〇	×
福神漬	同	三五〇	三五〇	×
鰯	同	二五〇	二五〇	×
鯖	同	二五〇	二五〇	×
鮎	同	三〇〇	三〇〇	×
蟹	同	一・〇〇〇	一・〇〇〇	×
筍	同	六〇〇	六〇〇	×
松茸	同	一・〇〇〇	一・〇〇〇	×

□漬物

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
漬物澤庵	百匁	一三〇	一三〇	×
同 梅干	同	三〇〇	二五〇	×
同 樂京漬	同	二五〇	二五〇	×
同 奈良漬	同	六〇〇	四五〇	×

□乾物

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
推茸 上	百匁	三八〇	三八〇	×
同 中	同	四〇〇	四〇〇	×
鰹節 上	同	二・五〇〇	二・五〇〇	×
同 中	同	一・八〇〇	一・八〇〇	×
高野豆腐	十個	二〇〇	二〇〇	×
干瓢	百匁	六〇〇	六〇〇	×
煎子	同	五〇〇	五〇〇	×
麥粉	同	一三〇	一〇〇	×
昆布	百匁	四五〇	四〇〇	×
廣島海苔	一帖	三〇〇	三〇〇	×
淺草海苔	同	五五〇	五五〇	×
味付海苔	一個	一・四〇〇	一・四〇〇	×
干ウトン	一把	一二〇	一五〇	×
素麵	百匁	二五〇	二三〇	×
片栗	一本	一〇〇	一〇〇	×

□雜

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
食鹽	一升	一五〇	一五〇	×
味噌 白	百匁	一三〇	一三〇	×
同 赤	同	一二〇	一二〇	×
砂糖 白	一斤	一九〇	一九〇	×
同 中白	同	一八〇	一八〇	×
茶 正喜撰	同	一・〇〇〇	一・〇〇〇	×
同 青柳	同	六〇〇	六〇〇	×
同 川柳	同	五〇〇	五〇〇	×
味之素 大	一個	一・八〇〇	一・八〇〇	×
同 中	同	九〇〇	九〇〇	×
ソース 大	一本	四五〇	四五〇	×

□薪炭

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
人吉木炭	六貫俵			
大丸	一俵	四・〇〇〇	四・二〇〇	×
半丸	同	三・八〇〇	四・〇〇〇	×
小丸	同	三・八〇〇	四・〇〇〇	×
角上	同	三・〇〇〇	三・二〇〇	×
角	同	—	—	
淺	同	—	—	
滿州木炭	八貫俵			
小丸	一俵	二・五〇〇	三・〇〇〇	×
角上	同	二・〇〇〇	二・四〇〇	×
日本薪割木モノ	一把	一・三〇〇	一・三〇〇	×

□魚類

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
タイ（生）	百匁	七〇〇	四〇〇	○	三〇〇
タイ（氷）		一〇〇	一〇〇	○	
グチ	同	〇九〇	九〇〇	×	
ニベ	同	一三〇	〇六〇	×	〇七〇
モク	同	一四〇	〇六〇	○	〇八〇
ウキ	同	二九〇	二五〇	○	〇四〇

□野菜

品名	單位	七月末價格	前月末價格		比較
午蒡	百匁	〇五〇	〇八〇	△	〇三〇
人參	同	〇二五	〇四〇	△	〇一五
葱	同	—	〇三〇	△	〇〇五
玉葱	同	〇八〇	〇七〇	○	〇一〇
蓮根	同	〇六〇	〇八〇	△	〇二〇
大根	同	〇五〇	〇三五	○	〇一五
長芋	同	—	一〇〇	×	
馬鈴薯	同	〇三五	〇三〇	△	〇〇五
甘藷	同	一〇〇	〇三〇	○	〇七〇
里芋	同	一五〇	一〇〇	○	〇五〇

□果物

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
林檎	百匁	一二〇	一二〇	×
梨	同	—	一八〇	×
バナナ	同	一六〇	一六〇	×
桃	同	一五	—	
杏子	同	—	—	
葡萄	同	—	二五〇	×

□石油

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
スタンダード美孚	一罐	二・三〇〇	二・三〇〇	×
同 虎	同	二・二五〇	二・二五〇	×
同 鷹	同	二・二〇〇	二・二〇〇	×
テキサス星	同	二・三〇〇	二・三〇〇	×
同 幸福	同	二・三〇〇	二・二〇〇	×
亞細亞魚印	同	二・三〇〇	二・三〇〇	×
同 元寶	同	二・三〇〇	二・三〇〇	×
同 僧帽	同	二・二〇〇	二・三〇〇	×

□呉服類

品名	單位	七月末價格	前月末價格	
モスリン	尺替	四四〇 四八〇	四六〇 五〇〇	×
晒布	尺	〇五〇 〇六〇	〇五〇 〇六〇	×
綿ネル	尺替	二三〇 三五〇	二三〇 三五〇	×
天竺	尺替	一五〇 一八〇	一五〇 一八〇	×
足袋 金巾白	一足	七五〇	七五〇	×
同 黑	同	九五〇	九五〇	×

山西省の棉花栽培

山西省は行政上省の西南諸地方を包括する河東道、山西省の中部及び西部より直隷河南の省境に亘る冀寧道及び省の北部を占むる雁門道の三道より成り河東道が一般に棉花の栽培を見たる外他の二道に於ては一九一八年に到る迄その氣候風土が棉花栽培に適しないと信じていた爲め少しの栽培も見なかつた、其處で此等二道の住民が消費する棉花綿布等はすべて直隷河南の両省より輸入しつゝあつたが山西省當局は此の信念を廢棄せしめんがために一九一八年該二道の住民にして棉花栽培に成功せる者に對し三千元の賞與金を與へた、然も保守的の彼等は大部分試作して省當局の賞金を得んと試みる事を躊躇し二道を通じ只僅かに二十五名の農夫が競爭に參與し十畝に滿たぬ土地を栽培したに過ぎなかつた、それにも拘らず省當局は當初の約束を實行して約束の三千元をその少數の棉花栽培者に分與せるため山西省の農民に取つては多額である百元以上を各人が獲得したのである處がその次年度には七千名以上の者がその競爭に參加したので棉作地も合計六千畝の多きに達し農民等は棉花栽培か賞金を獲得せんとするよりもそれ自体利益ある事業なる事を發見した、事實棉花の栽培は五穀類の栽培より遙かに利益多く一九二〇年には是等二道の農事試驗所に種子を要求するもの殺到するの盛況を呈し省當局はより以上の奬勵を必要としなくなつたゝめ遂にその賞金を撤回するに到つた、同年中該二道の棉花栽培者は二万以上に增加し耕作地の總計は五万畝以上に增加するに到つた、該地方の棉田中約五割は一畝より百斤の原棉を產し約三割は五十斤の原棉を殘りの二割は三十斤の原棉を產し原棉の市價は高價にして一斤五十仙位に販賣される、其處で一畝より三十斤の原棉を產すれは他の穀物を栽培するよりも利益の多い事が發見されたのである

山西當局は次に棉花栽培に必要なる智識を布及せしむるために太谷、文水、定襄及び高平の各地に四の棉花試驗場を設立したゝめ雁門道の蒙古境方面の氣候が棉花栽培に對し寒きに過ぐるを除き二道の他の地方には棉花栽培者が非常に急激の勢を以て增加するに到つた、かくて一九二四年の末には是等二道の棉作地は合計三十万畝以上に達し又一畝よりの收獲量も從來二十乃至百斤なりしものが一九二四年には四十乃至百五十斤に增加し、昨年度の一畝平均收獲は八十乃至九十斤にして一年間の原棉產額總額は約三百万元と見積られている

河東道は棉花栽培地として古くより知られたるも山西省當局の奬勵にて過去五六年間に亘りその產額は大いに增加した即ち一九一六年には四六六、三二〇畝の土地が棉田に使用され合計二〇一、八五一擔の繰綿を收獲した、約九〇、〇〇〇擔の繰綿、價額に見積つて四百万元以上（該年の市價は一擔約五十元）が漢口、天津及び他の諸地方に輸出され地方に消費されたものも少くない、一九二四年河東道の棉田は一、二一三、三七七畝に達したるも昨年六月及び七月上旬旱魃の影響にてその作柄は割合に不良であつた、昨年度河東道の產額總計は繰綿にて四十万擔未滿と見積られその中十万擔以上は他省に輸出せられた、棉花栽培の奬勵方法として山西當局は最近井戸の堀拔きを奬勵するに到つたが從來山西耕地の大部分は主として雨水による灌漑なりしため夏の初期久しきに亘る旱魃は作物殊に棉花の播種を害すること少きでなかつた、氣候の變化による作物の災害を免れんが爲に、農民は信用の容易と技術上の援助を受けてその耕地に井戸を堀る事を奬勵された、故に山西省の棉田は灌漑の利を得て益々增加すべしと信ぜられている

山西省の棉田には在來種及び米棉種共に產せられ在來種に在つては紅莖及び綠莖が最も一般に栽培され、又トライス（Trice）及びヂンクス（Jinks）等の米棉種も最近山西省に輸入されよく栽培されている、河東道に於ける棉田は一九二四年度に於て一、二一三、三七七畝なりしかその中九三三、四八九畝は支那種を栽培し二七九、八八八畝は米棉種を栽培された、各異れる地方に於て產せらるゝ異種類の棉花は其々或種の特徵を有し榆次及び介休に產せらるゝ紅莖及び綠莖種は纖維が長く柔軟にして極めて白色である、解縣及び榮河に產する棉花の纖維は多く螺旋狀に撚れ且つ甚だ彈力に富んで居る清源及び夏縣に移植された或種の米棉種は纖維長く且つ柔軟にして此の種の特長とする所はその纖維の細胞が空氣に觸れる時大いに澎漲する極め棉入の衣類に入れる時は他種の棉に比し体温を保つに有利である、沁縣及び太源に產するものは色彩稍黃味を帶ぶるもその纖維は甚だ强靭である、米棉種は理想的狀態の下に置く時即ち山西省の農事試驗場を設置せる如き地方に在りては大部分その原形を保持しその纖維は長く且つ白色である、山西省に移植された奉天長絨綿も同じく優良の纖維を產し、五台及びその近部に產する山西土棉はその纖維は粗短にして是等は單に棉火藥を製するに適當なるのみである、又直隷省から移植された數種の支那在來種あるもその纖維は不良にして粗短である、專門家の意見に據れば米棉種殊にトライス及びヂンクス等は他省より移植された支那在來種よりも遙かに山西省の氣候風土に適する由である

山西省の棉花が地方市場に出廻る時は各異つた名稱にて出廻るものにして解大花と稱するものは解縣及びその近部に產せられ榮高花は榮河、萬泉、臨晉等に產せられ韓陽花は韓陽鎭及び近郊の永濟及び虞鄉等に又金井廟鎭花と稱するものは金井廟及びその近郊に產せられるものである、是等諸種の棉花の商業的價値に就て見れば榮高花が第一位に在り臨晉花が最下位にあるも最近解大花は市場に於て高價を唱へつゝあり是れ榮高花が不正商人の惡品を混じその名聲を失墜せるに起因するものである、榮高花は普通他種に比し一擔に就て六、七弗高價なるため鈍慾なる取引人は棉花中に水氣を混ずるに到り榮河より出した貨物中にはその解裝時に當り腐蝕せるものを往々發見する、このために山西省當局は上海綿糸取引人組合の例にならひ嚴重なる法則を設けたるも榮高花の市價が今日依然下落しつゝあるを見ればやはりその弊は繼續されつゝあるものと信ぜられる、昨冬榮高棉の市價は他棉に比し一擔僅か一弗高價のみであつたが今年當初に於ては金井廟鎭花より約五十仙又解大花より約一元五十仙低價であつた、今年一月の價額は今井廟鎭花が一擔三十五元解大花が三十六元なるに榮高花は三十四元五十仙であつた、韓陽花は前記三種よりも低價なるも市場に於けるその名聲は良好にして韓陽花は當業者間に嘗て混棉の苦情が出た事がない由である

最近河南省の狀況不安定なるため山西省の棉花輸出は大いに刺激されたが昨冬より鐵道運輸の阻害により山西省の棉花は暴落するに到り、昨秋以後榮高花は一擔四十四元より三十四元五十仙に下落するに到り臨晉花の如き土棉は三十元以下に下落するに到つた、解縣、榮河及び臨晉は山西棉を河南省鄭州に出すための內地集散市場にして天津市場に出廻るものは正太鐵道に據り榆次がその集散中心地である、鐵路運賃は一擔二元乃至三元にして內地厘金は輸出用繰棉が一擔六十仙實棉二十四仙である、鄭州市場に出廻るものは民船に據るため比較的僅少の費用である

山西省の棉花栽培方法は他省に於て流行しつゝあるものと大差なく約四月中旬に土地を耕し次に棉實を冷水中に約二十四時間浸し次第に溫水に浸して數時間を經たる上灰を混じて耕作地に播種するのである、かくして發芽した際に棉田の除草を行ひ棉樹附近の土地は折々耕しその後も屢々除草殊に雨後に除草を行ふのである、かくて七月中旬頃橫枝を出させるために頭を切り取り各枝が四五寸に伸びた時は同じく橫枝を出させるためにその頭を切り取るのである、かくて蒴が出始めたならば異狀ある枝に注意し若し何れかの枝に病氣を發見した際は直に切り取らぬと病氣は忽ち他に傳播するのである蒴は十月に收穫し一般に太陽にて自然に破裂する程度迄乾燥する、蒴より集めた棉は籽實又は原棉と稱されその棉實を取り去つたものを繰棉と稱するのである、山西省の農民は實棉の儘又は繰棉して取引するものにして繰棉は時に木製の舊式機械にて繰棉するも又時に鋼鐵製の新式機械が用ひられる事もある、北部及び中部山西省に於ける農民は數年前迄木製繰棉機の使用すら知らず單に手にてその作業をなせるも甚だ緩慢にして不經濟たるを免れない、然し乍ら當局者の補助により殆んどすべての棉作者は目下木製繰棉機を所持している

當局者の報導に據れば一九二四年度山西省の棉田總面積は約一、五〇〇、〇〇〇畝にして繰棉の產額は約四〇〇、〇〇〇擔と見積られている、通如崇棉業公會が發表せる山西省の棉作地及び繰棉產額は同年中にて當局者の發表せるものより遙かに低位にある、（同公會の發表せる數字は六一三、五一三畝及び一三六、九三六擔）此の數字の相違は公會の報告が種々省略せるに基くものにして山西省當局の調査は各地方の報告に基いたもの故甚だ周到にして信ずべきものがある、棉業公會の調査は山西省に於て棉業に從事する各團體及び各關係商人の書類を基礎として作つたものでかくの如き調査に時に脫略のあつた事は疑なき處である

山西省の產棉は一九一九年以來十割以上增加し同年中該省の總產額は一九二四年度產額の半にも達しなかつた、中部及び北部山西省に於ては今日依然として棉衣類を直隷省より每年相當額輸入しつゝあるが後十年を出でずして地方織機にて充分此の地方住民の衣服を產し得るに到るであらう、現在山西省には榆次に晉華紡織公司と稱する一の新式紡績工場が存するのみにして該工場には一萬錘を設備せるも近き將來には河東道方面に安價なる勞銀と省內に豐なる棉花の供給とを利用し新工場が設立せらるべしと信ぜられている（經濟討論抄譯）